

カメロンオーラメーターの使い方（日本語訳）

Mind Craft 2014

オーラメーターはどちらの手で握ってもかまいません。感度をあげるためには、オーラメーターを手のひらに握り、半分たてた状態にしてください。（訳注：手のひらは握りながらも横を向いた状態です）これは「サイド・グリップ」という名で知られた持ち方です。質問に対する答えを探そうというモードです。

最初にまず、質問について明確にしてください。そして、あらかじめ決めた約束にしたがって
*（訳注：後述） 人、モノ、さまざまな対象からくる、五感を超えた直感の情報を得てください。



オーラメーターによるダウジングの長年のワークショップでわかっていることは、人の自律神経は、現実になる前のエネルギーを感知し、人体からこの装置に流れ込みます。オーラメーターは、コントロールしようという意志を超えてエネルギーを受信するアンテナとして動作します。オーラメーターは精神的にも直感的にも、離れた場所にあるエネルギーを検知する感覚器官の延長になるのです。

“オーバーグリップ（手のひらを下向きに）“すると、特定の場合には物理的なコントロールをすることができます。

“アンダーグリップ（手のひらを上向きに）“すると、コイルのバネでできた先は上向きになります。とても感度があがり、弱い反応であっても引き出すことができます。



常にまっすぐ立って、リラックスしながらも集中してください。オーラメーターは軽くにぎります。握り手に不必要な力を加えないようにします。

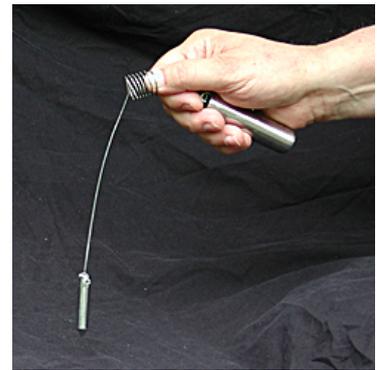
オーラメーターは5つのダウジングの機能で使うことができます。方向をさすコンパス、上下にゆれる装置、垂直型振り子、杖と重力振り子です。

人差し指がコイルスプリング部に触らないように、にぎりの後ろ半分を握ってください。上下左右に自由に動くのをある程度制限してバランスをとるようになぎりの中に小さいスプリングが入っています。ここが、オーラメーターがダウジングの反応を敏感にひきだす秘密なのです。

オーラメーターのコイルスプリング部分を持ち、先端を下に下げ、地面をさすようにします。自然と重力とバランスがとれます。

いったんポイント部分が前方をさして少し浮かび上がります。この時、手首を曲げてください。（前腕をあげないように！）。

オーラメーターは”平衡“状態となります。だんだんポインターを上に向けたり前を向けることがむつかしくなり、左右に勝手にふれはじめるはずでず。この”平衡“状態は最大の反応を得ることがで



きます。先端のバランスを失わないようにコイルスプリングを上に向けていくと、感度がますますあがります（訳注：アンバランスにどんどんなりやすくなります）低くするとにぶくなった感じになります。先端部分をさげていくと先端は慣性を持ちますが、床や地平線のレベルより上では、アイデア探索モードとなります。

オーラメーターでダウジングをする時、探しているものの微細なエネルギーを、**あらかじめ決めた「共感する関心をもつというルール」**にもとづき探知します。装置との時間をすごした結果、あらかじめ決めた約束どおりの反応を示します。例えば：**YES** なら右回り、**NO** なら左回りというように。それを一度、明確に装置と相談して決めてください。

もし先端が右でもなければ左でもないようにふれているなら、どちらでもない不確定だということ。たぶん質問が明確ではないか後からもう一度やってみてください。

他にも数字や文字を用意しておいて先端の揺れ具合で答えを得る方法もあります。

心の中で質問をして、答えの反応が出るまで数秒から数十秒かかることもあります。初心者は心と体が一致して反応するまで時間がかかることがあります。この装置は先端が下を向いている時には慣性により（新しい反応にかわるために）時間がかかります。

反応がよくない時は次の3点を確認してください。

- a) 質問は明確ですか？
- b) 心は明瞭ですか？
- c) 欲しい答えのために複数の質問で混乱していませんか？

「宣伝紹介」略